

下田祇園獅子太鼓【しもだぎおんししたいこ】



開催場所

久留米市城島町大字下田区内各家、
最後に炎の舞

開催日

7月13日

【芸能の概要】

300年余の歴史がある祭りで、公民館役員と小・中学生の男子により、赤と青の獅子に各2人入り、交代で各戸を巡る。宮太鼓は昭和29年に新調され、鐘は明治22年の製作で、町の文化財。赤と青の獅子は明治30年の製作。丁切屋台(ちょうぎりやたい)は老朽化のため廃絶され、4分の1程度のミニ二判に復元されている。演目の「炎の舞」は、これまで背負って来た悪魔や邪鬼を焼き払い清める行事。

【芸能の特徴】

公民館役員と小・中学生の男子で赤と青の獅子に各2人が入り、途中交代しながら各戸を回る。獅子舞い一行は、各家々を「門付け」訪問して回り、玄関口で「ソラキター」と呼びかけて家の人に知らせ、お汐井を撒き清める。獅子は家人に対して獅子の口をカタカタと2、3度鳴らして邪気を払い清める。西と東の地区境界(堤防)で稲わらを燃やし「炎の舞」を舞う。この舞いは、これまで背負ってきた悪魔や邪鬼を焼き払い清める願いの舞である。

【使用する祭具・道具など】

現在使用中の獅子頭は、1897(明治30)年に製作されたもので、立派との評判。宮太鼓(大太鼓)は1954(昭和29)年に新調。鐘は1889(明治22)年に製作。町の文化財に指定され、戦時中の供出を免れた逸品。火の見櫓の半鐘として使用されていた。

・アクセス

西鉄大牟田線大善寺駅から城島行バス乗車、上城島バス停下車、徒歩30分

・周辺の観光

エツ大師堂、酒資料館、酒蔵(4箇所)
酒蔵物産フェア(2月)、花まつりお茶会(4月第1土曜)、
エツ感謝祭(5月上旬)、酒蔵寄席(5月下旬)、
城島ふるさとまつり(9月)、
健康ウォーキング大会 in 城島(10月)、
鬼面マラソン(12月)

・近くの特産品

清酒、城島瓦、瓦工芸品、城島和傘、い草製品、奈良漬、
イチゴ、イチジク、エノキ茸、松茸、ネギ、エツ(魚)。

